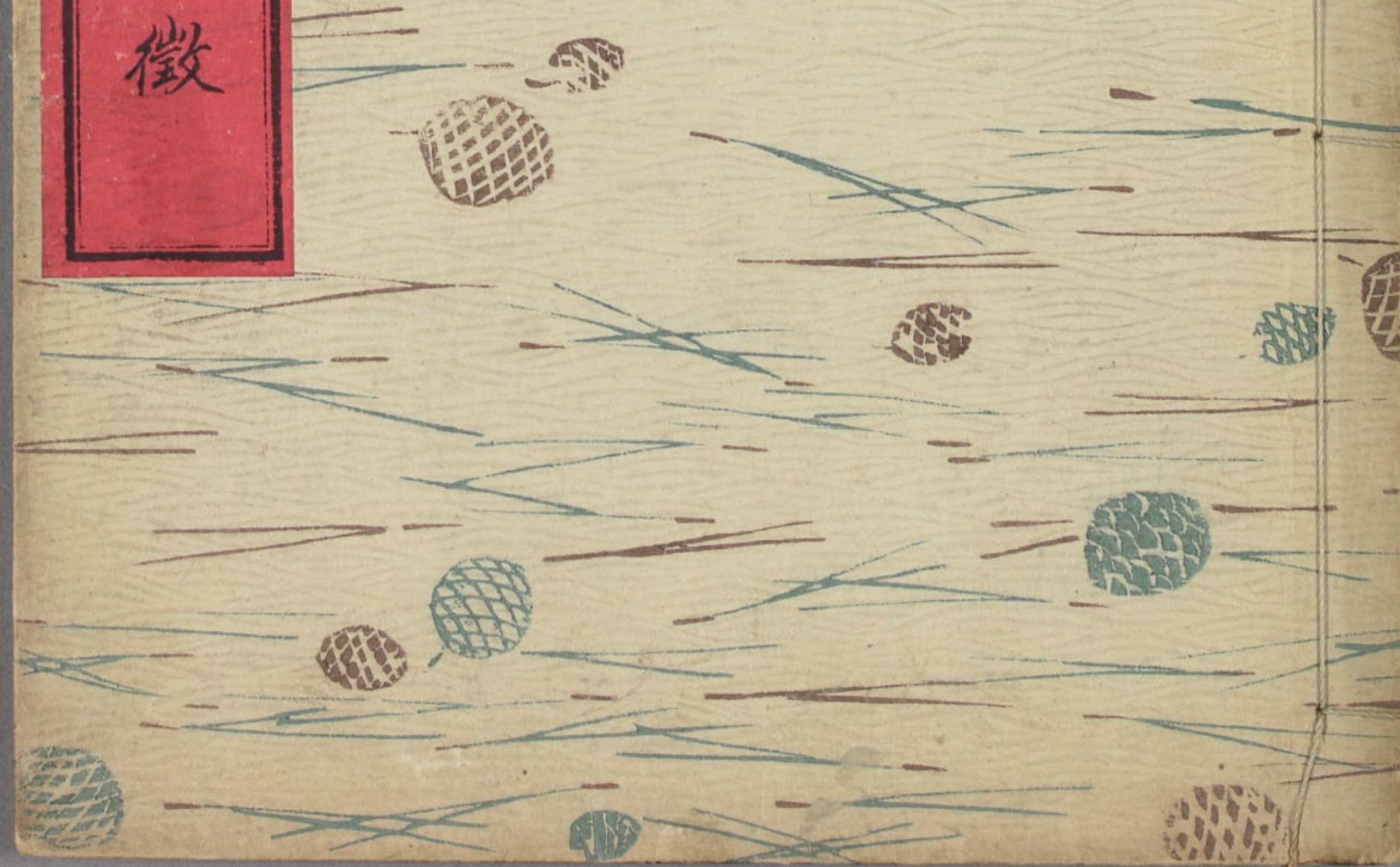




琴如新纂

徵

卷之四  
 江戸芝居古圖  
 同古洋瑠璃繪本摹  
 古板本操芝居圖摹



琴曲類聚卷之四

目錄

寛文古書撰所筆所居書 此書正信業

貞享年中同之居書 此書正信業

江戸淨瑠璃書 此書正信業

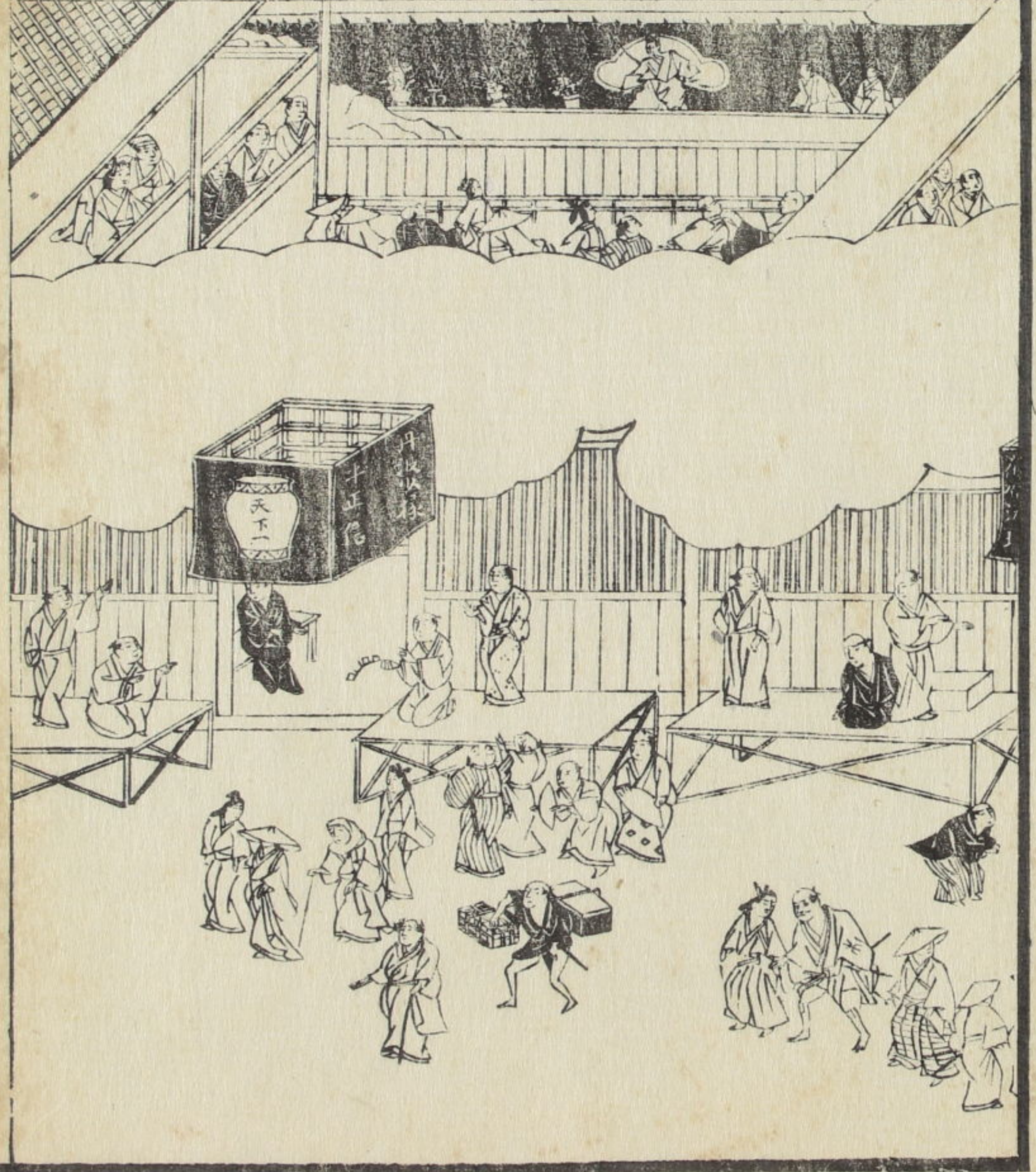
和歌書 此書正信業

同様書 此書正信業

上巻 天保八之書 石見郡 和歌書 浮世文様 此書正信業 江戸心算四書 樂座の書 此書正信業 貞享年中入巻の書 此書正信業

以上

東海道名所記  
 寛文五年  
 江戸  
 大坂  
 京都  
 奈良  
 和歌山  
 徳島  
 高松  
 松山  
 金沢  
 越前  
 富山  
 石川  
 福井  
 滋賀  
 甲斐  
 信濃  
 上野  
 武蔵  
 相模  
 伊豆  
 伊賀  
 美濃  
 尾張  
 越前  
 加賀  
 石川  
 福井  
 滋賀  
 甲斐  
 信濃  
 上野  
 武蔵  
 相模  
 伊豆  
 伊賀  
 美濃  
 尾張



東海道名所記  
 寛文五年  
 江戸  
 大坂  
 京都  
 奈良  
 和歌山  
 徳島  
 高松  
 松山  
 金沢  
 越前  
 富山  
 石川  
 福井  
 滋賀  
 甲斐  
 信濃  
 上野  
 武蔵  
 相模  
 伊豆  
 伊賀  
 美濃  
 尾張  
 越前  
 加賀  
 石川  
 福井  
 滋賀  
 甲斐  
 信濃  
 上野  
 武蔵  
 相模  
 伊豆  
 伊賀  
 美濃  
 尾張



江戸

子車

うんひがやうまの  
 むしれいあまひの  
 まつげく西のう  
 むしほぶういん  
 くやとるおと  
 ろふはさん  
 徳おしがみおど  
 川ふらそけん  
 ろうとま  
 ちんさのふも  
 あつ老うわ  
 おおとんま  
 浮勢あか  
 りつこま



をま  
 りつう  
 こ  
 ト  
 は  
 人  
 り  
 と  
 此  
 代





二基 晉少曆草

<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>		<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>

二八

<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>		<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>
<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>東</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>	<p>西</p> <p>晉少曆草</p> <p>二基</p>

西

晉少曆草

近世抄の年号も古来のものなるを以て近世抄と稱す所を居るは尚也載  
せしむるの國も異國なる所ありて是れなすは載せしむるの國也  
此れも亦も居る所ありて是れ也

以下の十二丁書の中より近世抄の爲なりし者ありて是れ也と書ありて是れ也  
一丁書一丁書一丁書の形載せしむるは

丹波抄振平心伝正本

(和泉)

丹波抄の年号も古来のものなるを以て近世抄と稱す所を居るは尚也載  
せしむるの國も異國なる所ありて是れなすは載せしむるの國也  
此れも亦も居る所ありて是れ也





五月吉日  
 山形屋板  
 作者  
 思清玄漢  
 重俊

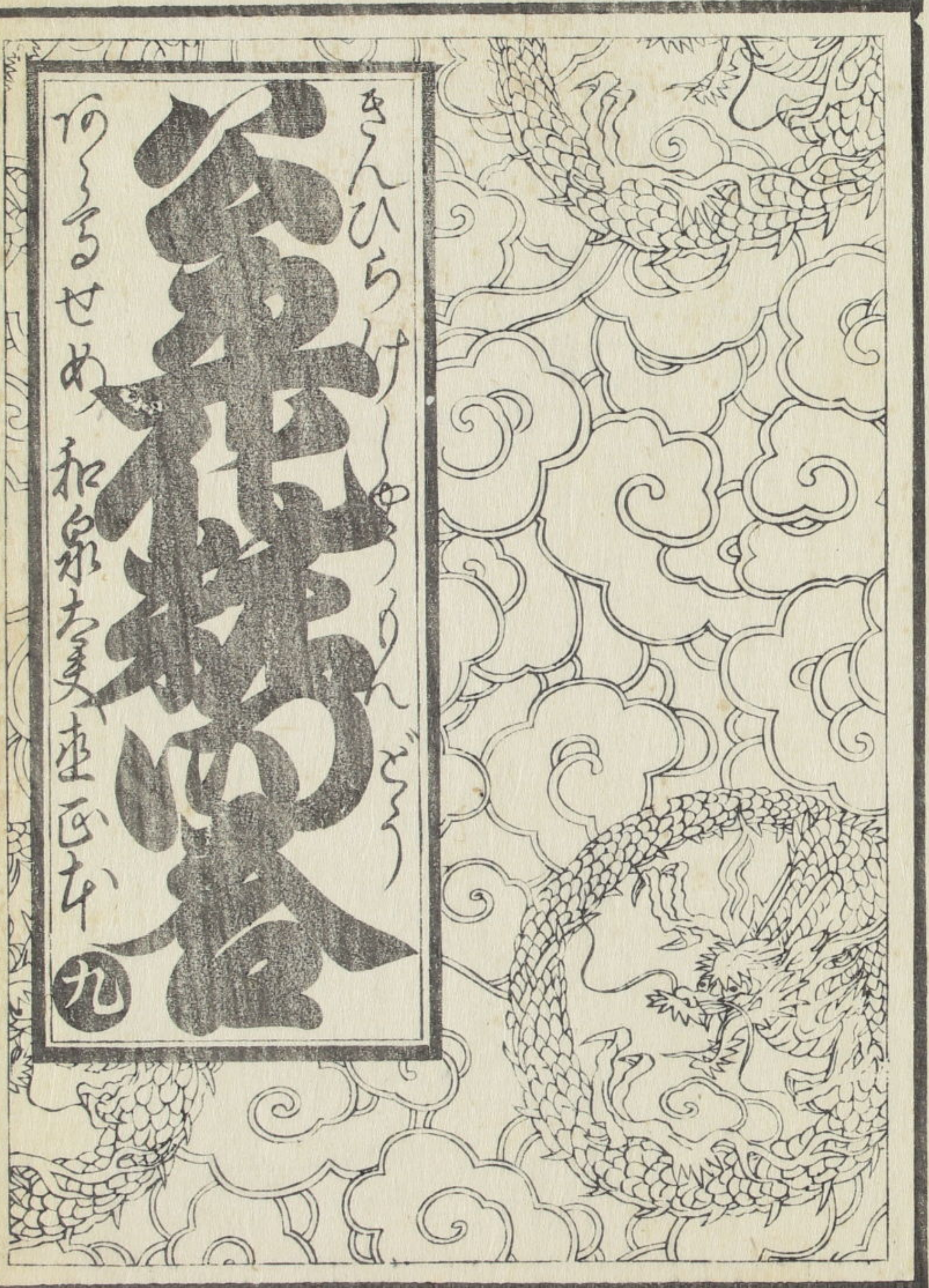
五月吉日

山形屋板

作者

思清玄漢

重俊



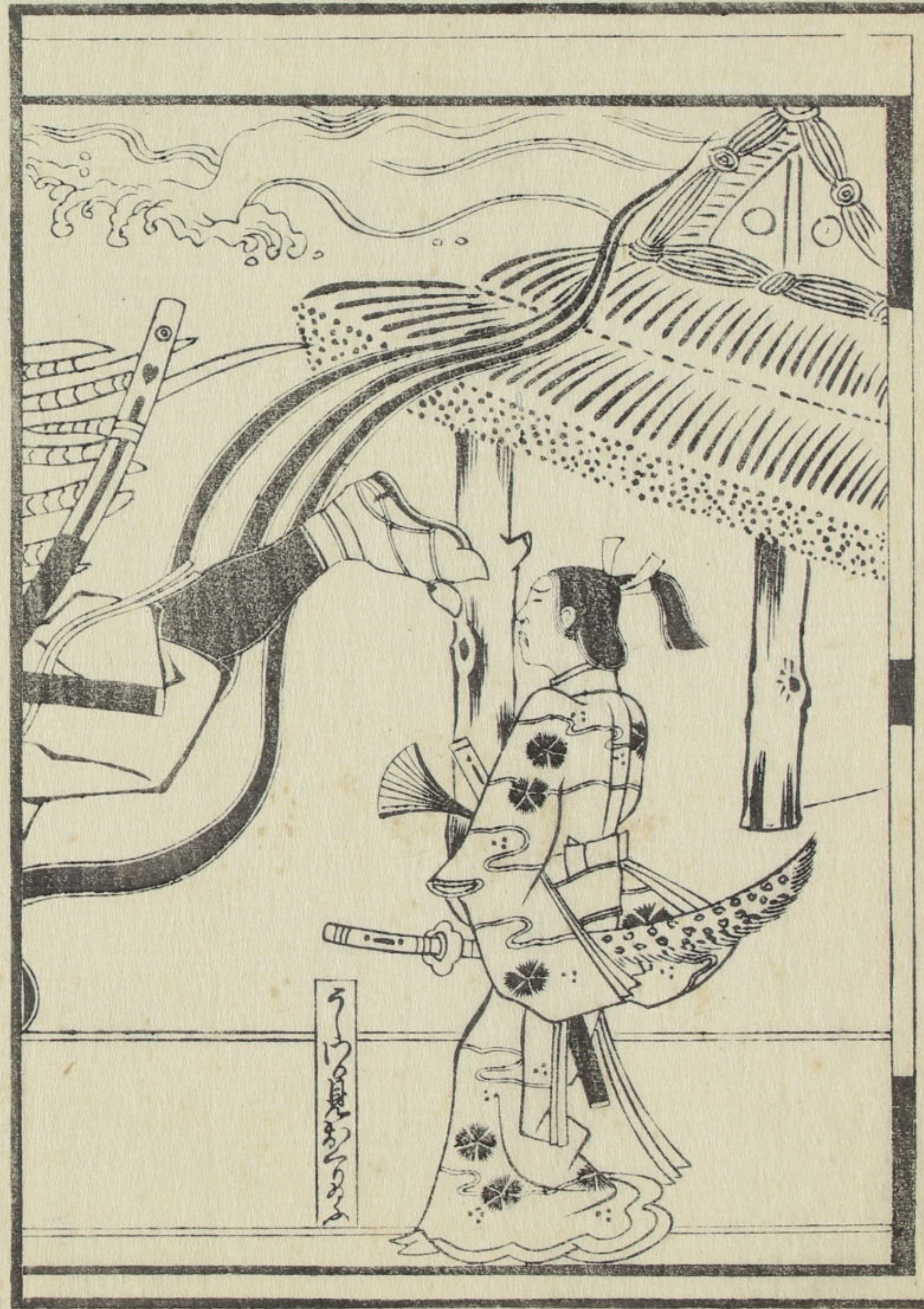
森

五んひらけ

何々せぬ 和泉太美 連正本 九







Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of the main text on the opposite page. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left.

右之本者江戸  
長門板  
正本<sup>二</sup>両令板行者也

白道 初巻

Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of the main text on the opposite page. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left.



Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introduction, located at the top of the page.

存正年者古依出権橋正勝  
秘傳之正年令板行也

村田愈用刊

夜回年月日并り 物伝

Main body of handwritten text in a cursive style, detailing the 'Night Return' (夜回) and other related events.



二ノ十







以下十  
 筆名  
 初九  
 彦左  
 権左  
 居の  
 中山  
 七画  
 一  
 重  
 の  
 後  
 行



式  
 下  
 長  
 丈

長  
 丈

源  
 丈

中  
 丈

長  
 丈

土  
 佐  
 丈

四  
 十  
 七



長  
 丈

あ  
 の  
 丈

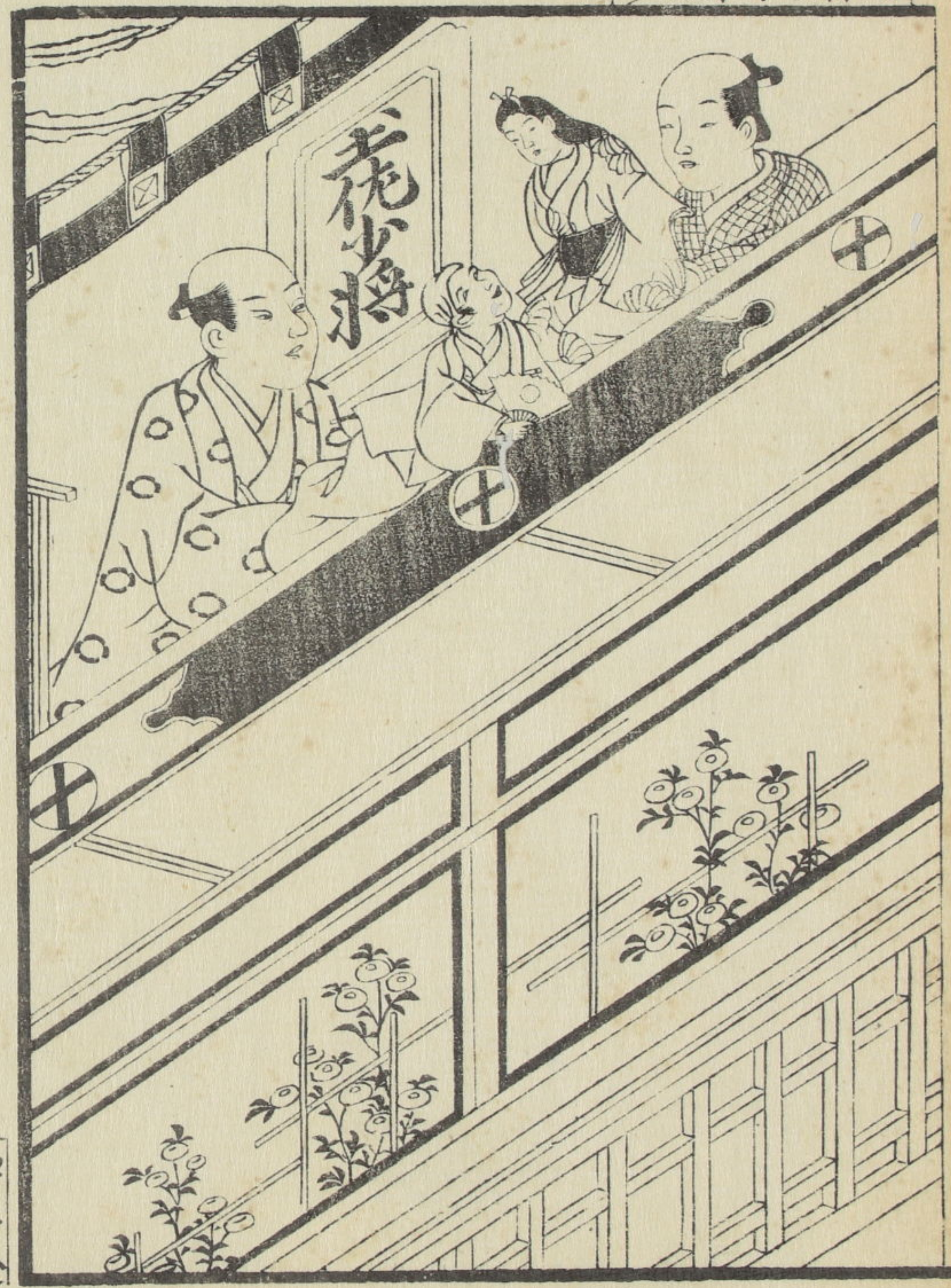
上  
 の  
 丈

ひ  
 せ  
 ん  
 の  
 丈

あ  
 の  
 丈

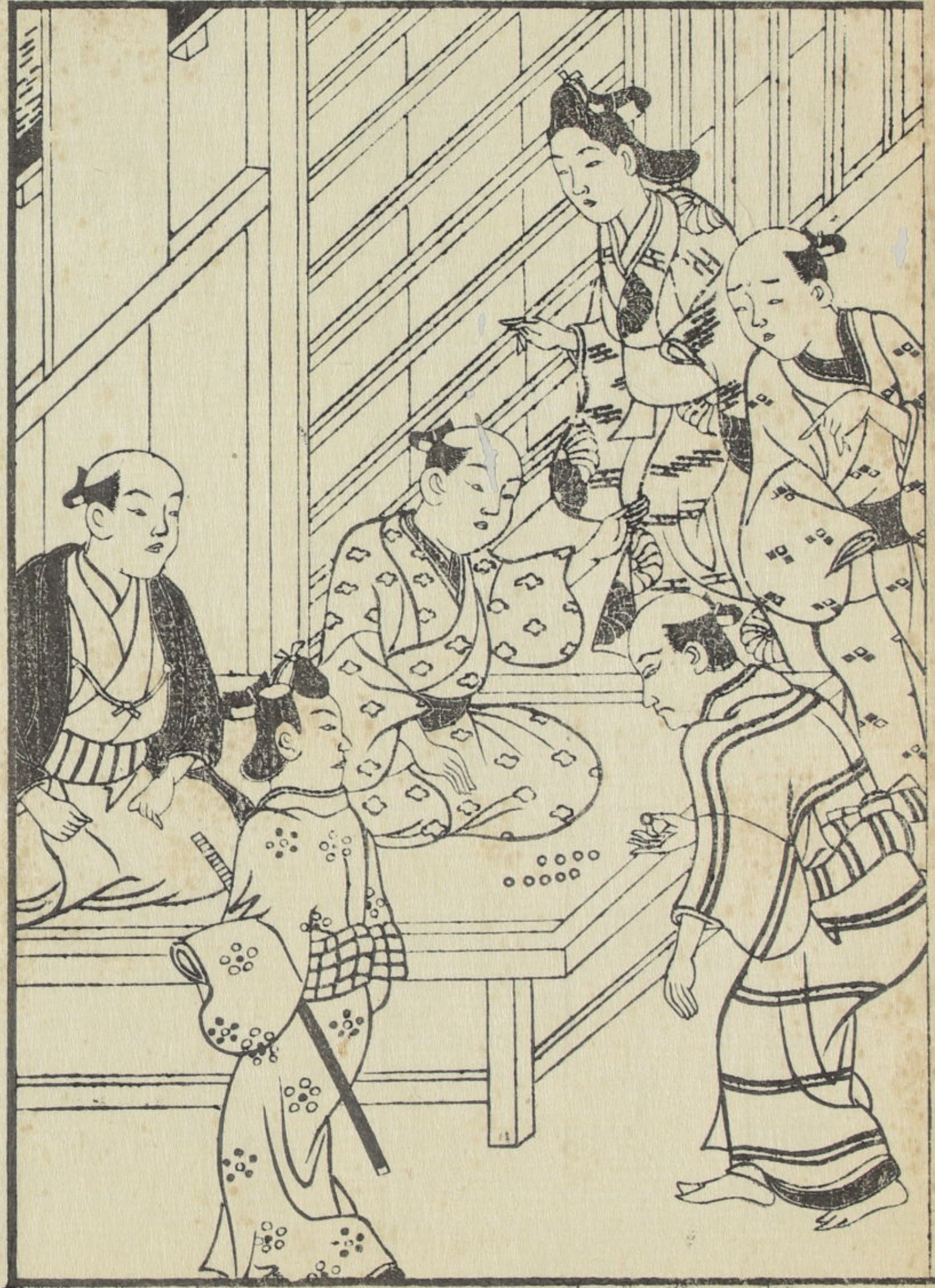
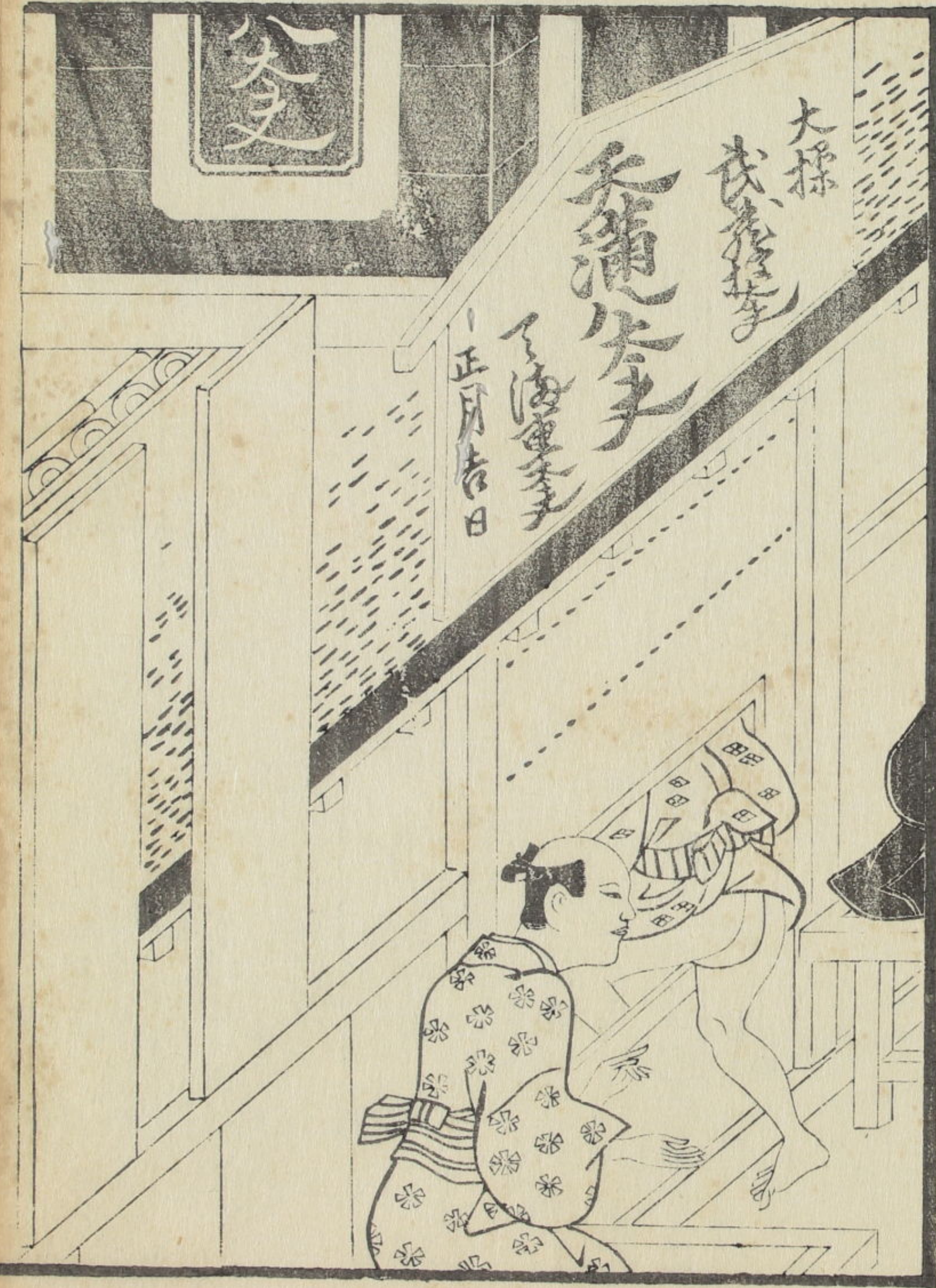


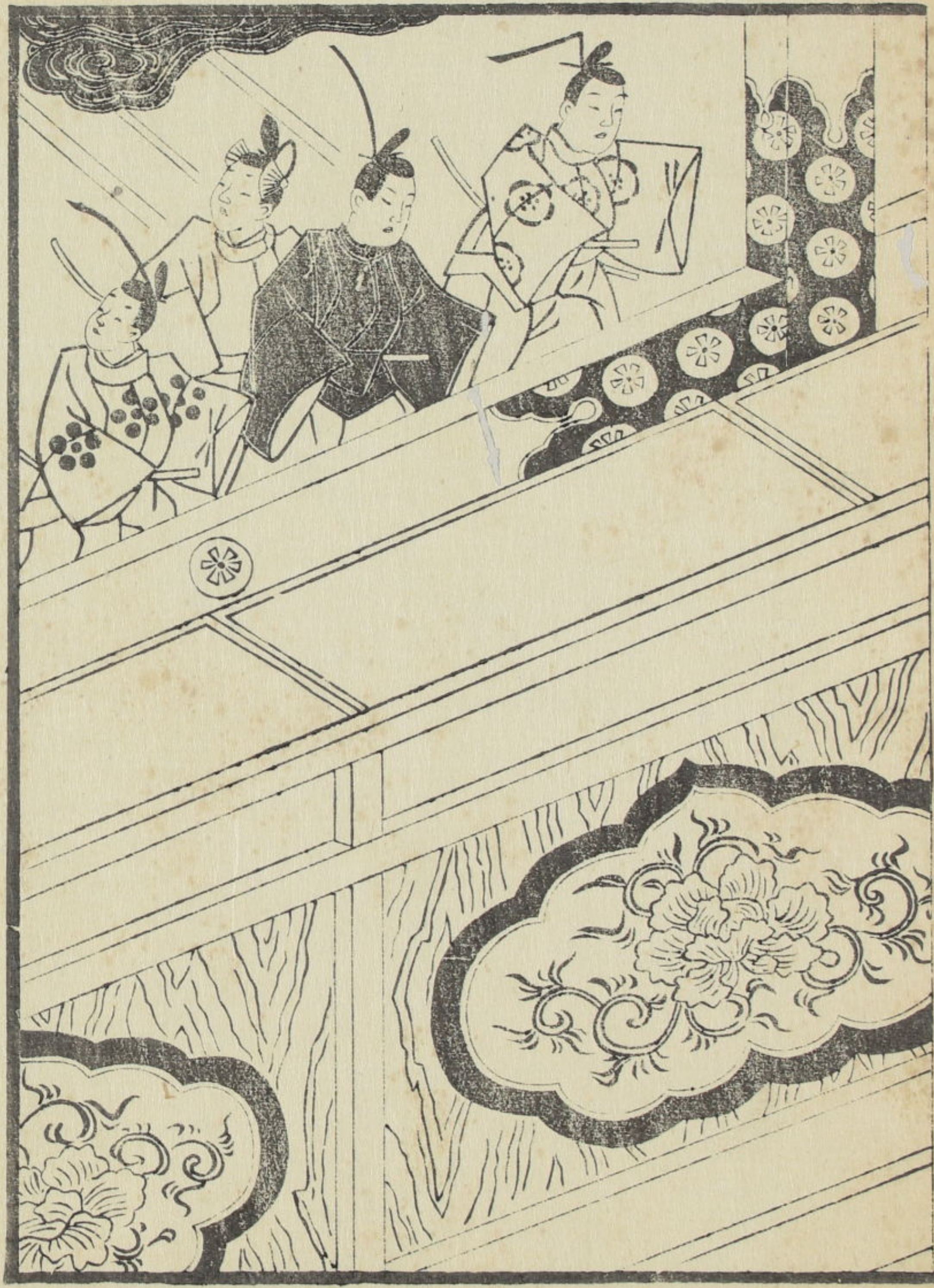
なのみろとみま  
り無杯らあ将佐

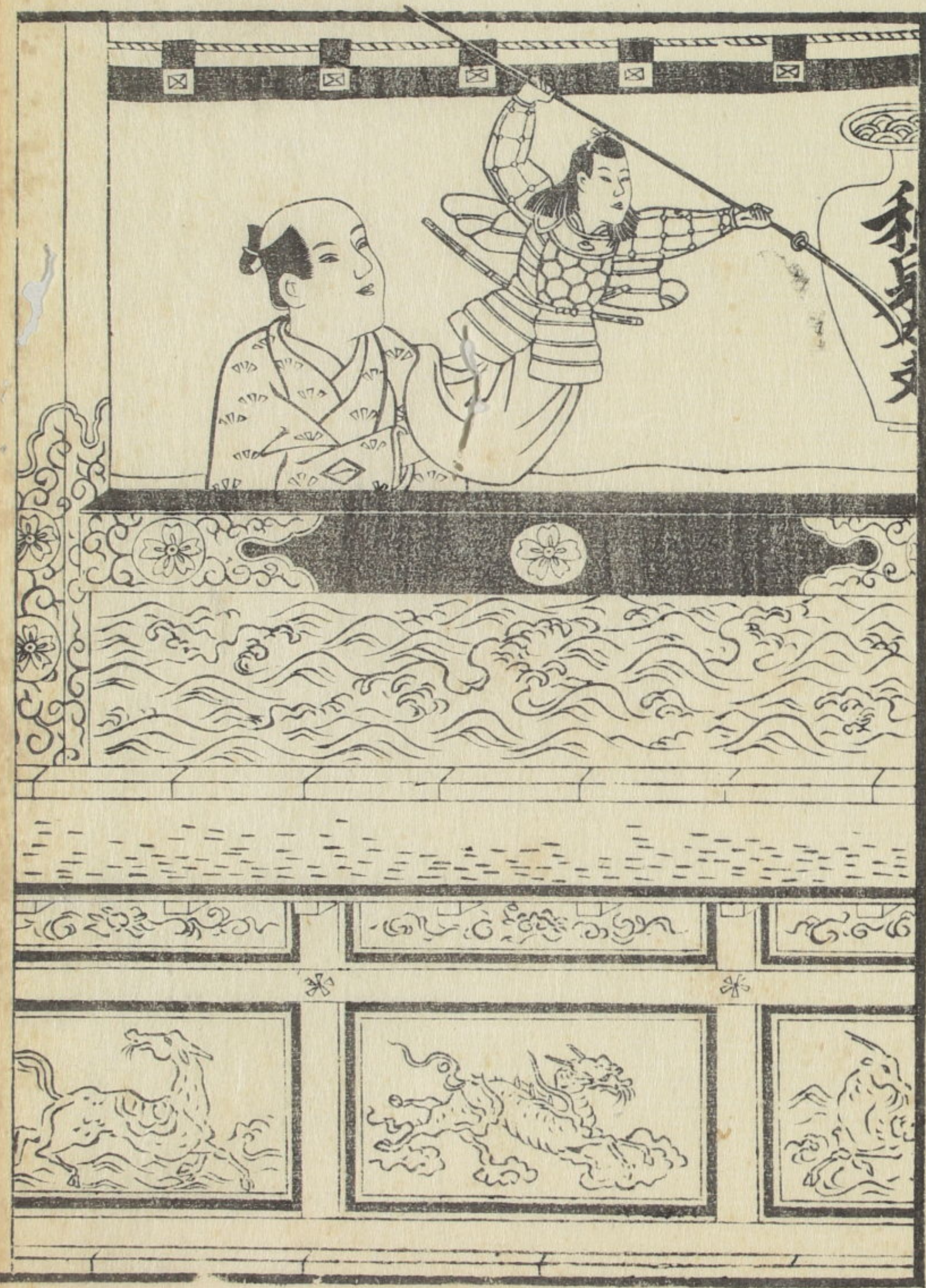


八十八







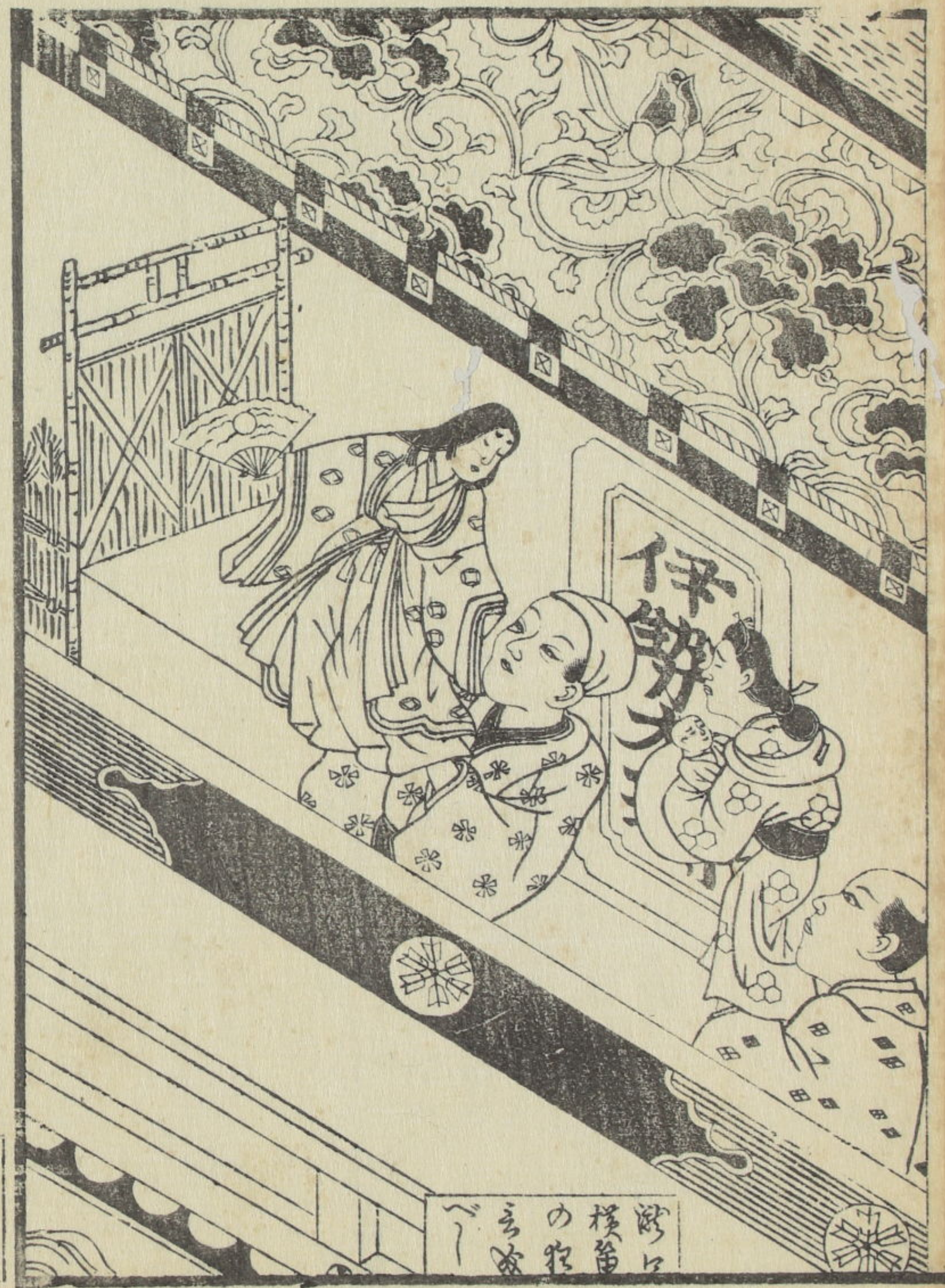
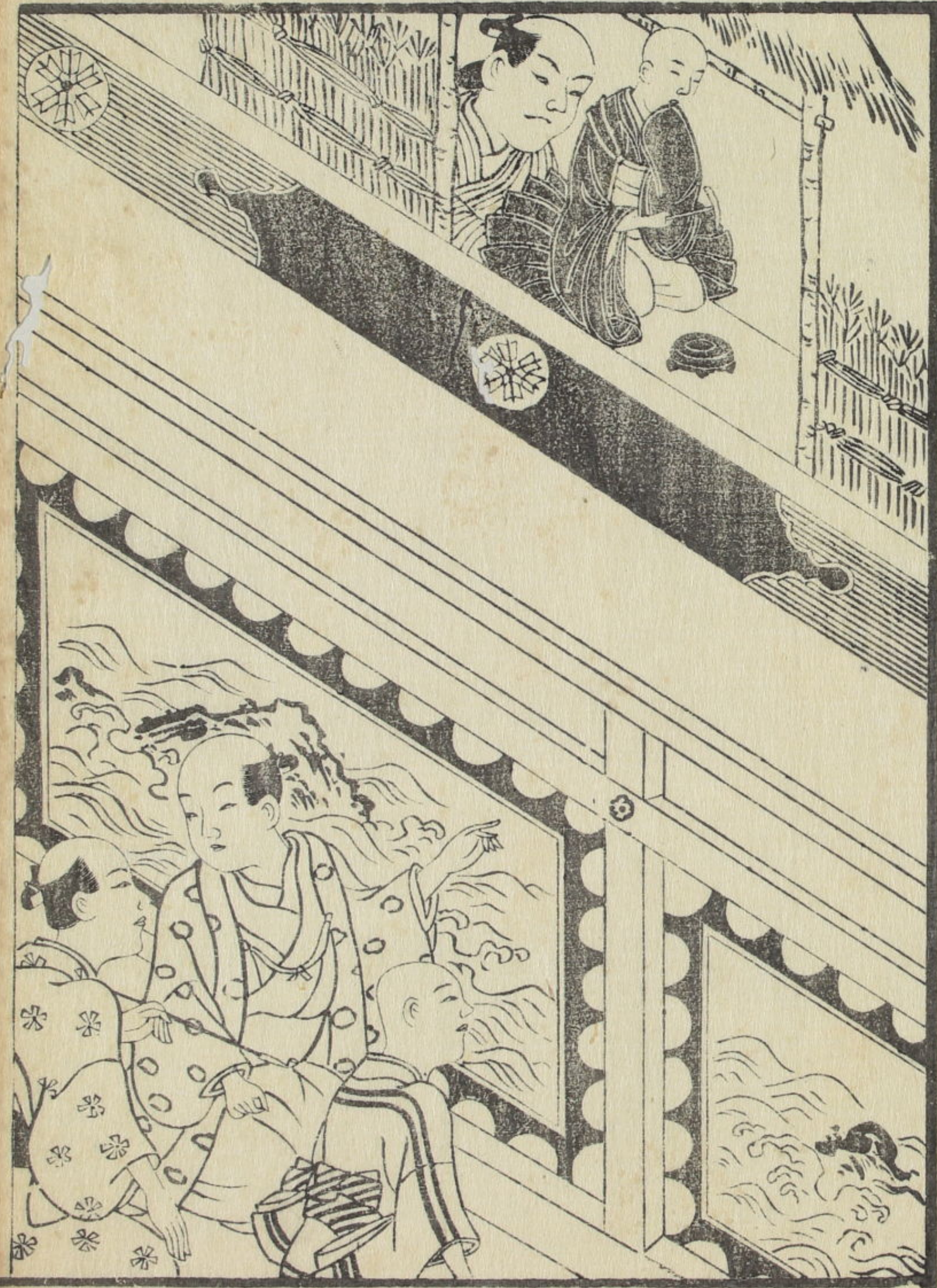






尾ノ丸三

和泉  
おのり  
おのり  
おのり



伊ノ丸

伊勢の横笛



江戸  
の  
名  
所  
を  
見  
る  
に  
あ  
ら  
は  
せ  
る  
に  
あ  
ら  
は  
せ  
る



孫四郎

江戸  
孫四郎  
其居  
まゝ  
ふの  
こん  
ひの  
ん  
て  
考



江戸  
北  
六

以上十六葉古板本

月岑自摹



琴曲類纂卷之四畢

五十七

